

避難所運営ワークショップ

大規模災害時、被災自治体である福岡市は、市民の身体・生命を守るため様々な災害対策を行う必要があります。こうした状況のもと、避難所を円滑に運営していくためには、住民の皆さんにも支援される側から支援する側に回っていただくことが必要なことから、平成29年度から避難所運営を学ぶワークショップを開催しています。

ワークショップの特徴

◆実務を通じて避難所運営に精通した講師を招き、避難所の中で起きる様々な事例の紹介やその対処方法など地域が求める諸課題に応じて、研修プログラムを組み立てるオーダーメイド方式。

◆校区の地図を使って災害上の危険個所を拾い出すDIGや避難所運営で生じる様々な問題への解決策を考えるHUGなど、参加者が主体的に関わる全員参加型。



ワークショップのテーマ

- ◆ 避難所のレイアウト計画について
- ◆ 避難所運営のそれぞれの役割について
- ◆ 女性の視点を活かした避難所運営について
- ◆ 避難所でのペット対策について
- ◆ 避難所運営訓練の実施内容について

など



ワークショップが
避難所運営訓練に
つながった校区

これまでの被災地では、被災した地元行政職員等は直ぐに避難所に駆けつけることは出来ませんでした。自分たちの『命と暮らしを守る』ために、避難した住民たち自らが、避難所の環境等を確認して、最善は何かを協議し、優先順位を決めて、協力しながら運営することが必要です。そのための準備と覚悟をワークショップで学びます。



ワークショップについて
お話を伺ったのは

別府市役所
防災推進専門員
村野 淳子さん

博多あん・あん塾

福岡市では、地域や企業における防災リーダーの養成を目的として、平成17年度から博多あん(安全)・あん(安心)塾を開催しています。これまで約1,000名の方が受講され、地域や職場で活躍されています。

本講座を修了した方は、**防災士の受験資格**が与えられます。

防災士とは

NPO法人日本防災士機構(東京都千代田区)が、防災に関する一定の意識、知識、技能を持った人を認証する民間資格です。

開講時期

8～10月に開催(8回程度)

講座内容

大学教授、マスコミ関係者、行政職員、民間の有識者など
防災に関するエキスパートによる各種講座

募集方法

市政だより、市のホームページなどで案内

『博多あん(安全)・あん(安心)塾』修了生の活動事例

修了生の多くは防災士資格を取得し、居住する地域や勤務先などで防災リーダーとして活躍しています。

地域の自主防災組織メンバーとして防災訓練や防災講習会を行ったり、修了生有志でつくるボランティア団体に参加し、市内各地域や学校などで講習会を実施するなど普及啓発を行っています。



講座の風景



グループワークの風景



卒業生による活動風景

私が防災士になったきっかけは、地図を使って防災を考える「災害図上演習(DIG)」を体験し、防災に興味を持ったことです。地域や学校でDIGやクロスロードゲーム・非常持ち出し品ゲーム・災害食クッキングなどを楽しく体験し、防災を身近に感じてもらった時はうれしいです。「みんなで楽しく防災・減災」をモットーにこれからも活動したいと思います。



博多あん・あんリーダー会
副会長・城南支部長

防災士
上野 直美さん